2023 年 11 月 16 日

スーパー耐久シリーズ第 7 戦　富士スピードウェイ

今季最終戦を優勝で飾り ST-2 クラスシリーズチャンピオンを獲得

(株)本田技術研究所/本田技研工業(株)の従業員自己啓発チーム“Honda R&D Challenge”（以下 HRDC）は、11 月 11 日(土)～12 日(日)に開催された「ＥＮＥＯＳ スーパー耐久シリーズ 2023 Supported by BRIDGESTONE」第 7 戦にてクラス優勝を果たし、ST-2 クラスにてシリーズチャンピオンを獲得した。

QUALIFY / 予選

前日までの練習走行ではウェット路面での走行時間が多く、予選日も雨交じりのセッションとなった。前戦まで悩まされたエンジン不具合は改善され車の調子は良かったものの、A ドライバー石垣は乾きかけの滑りやすい路面に苦労し 4 番手タイム。B ドライバー木立が走行する頃には雨脚が強くなり、ウェットタイヤにて走行するもスリックタイヤを選択したライバル勢の先行を許し 5 番手タイム。A/B ドライバー合算で決まる予選順位ではクラス 4 番手となった。

＜予選リザルト＞

Pos.	No.	Car	A Dr. Time	B Dr. Time	Total Time
1	225	KTMS GR YARIS	1’52.792	1’56.758	3’49.550
2	13	ENDLESS GR YARIS	1’53.493	1’57.732	3’51.225
3	6	新菱オート DIXCEL 夢住まい館エボ 10	1’54.085	2’00.572	3’54.657
4	**743**	**Honda R&D Challenge FL5**	**1’54.203**	**2’03.552**	**3’57.755**
5	7	新菱オート DIXCEL エボ 10	1’55.024	2’03.106	3’58.130

RACE / 決勝

当日の天候は曇り。午前中に行われた併催レースではハーフウェット路面であったが、スーパー耐久決勝がスタートする 12:30 にはドライコンディションとなった。

D ドライバー小林は今回初めてスタートドライバーを担当したが、タイヤが冷えた状態のスタート直後を堅実に乗り切り、タイヤが温まってからは前車をパスしつつ上位陣と遜色ないペースで快調に走行。36 周目にピットストップを迎える頃にはクラストップに躍り出た。第 2 スティントは石垣が担当。レース前に立てた戦略通りのペースで走行していると、40 周目にポイントランキングトップの 13 号車がガレージイン。逆転チャンピオンの可能性が出てくる中、もう一つの必須条件である優勝に向けて順調に走行を重ねる。

72 周目にピットインすると、第 3 スティントでは木立がここでも戦略通りのペースで走行を続けるが、後方から驚異的なペースで追い上げてきた 225 号車にトップを明け渡す。しかし、想定ペースを維持しながらトップに食らいつき、91 周目にピットインすると最終スティントを石垣へ託す。トップとのギャップを縮めながら周回を重ねていると、96 周目に 225 号車がスローダウン。13 号車はエンジン交換を終えてコース復帰するも完走を果たすには時間が足りず、HRDC のチャンピオン獲得条件が全て揃う展開に。石垣は確実な走行でゴールを目指し、121 周を走破してクラス優勝。この結果、28.5 ポイント差を跳ね返す大逆転劇で ST-2 クラスチャンピオンを獲得した。

<決勝リザルト>

Pos.	No.	Car	Laps	Total Time	Gap
1	743	Honda R&D Challenge FL5	121	4:02’21.244	
2	6	新菱オート DIXCEL 夢住まい館エボ 10	120	4:03'12.569	1 Lap
3	7	新菱オート DIXCEL エボ 10	119	4:03’12.626	2 Laps
4	225	KTMS GR YARIS	109	4:01'49.256	12 Laps
		＊＊＊以上完走（規定周回数　ST-2：84Laps）＊＊＊			
5	13	ENDLESS GR YARIS	57	4:01'39.672	64 Laps

ドライバーコメント

A ドライバー　石垣博基

　ここまでの数戦で悩まされたトラブルを改善でき、練習走行から良いパフォーマンスを発揮できていましたので、大きな期待とともに予選・決勝に臨みました。
　予選では 1 周をうまくまとめられず速さを見せることができなかったので、決勝にかける想いはいつも以上に強かったです。第 2＆第 4 スティントを担当しましたが、タイム・燃費・タイヤマネジメントを高いレベルでまとめるべく最後まで集中して走り続けました。良い車に仕上げてくれたチームメンバーに感謝しています。
　チャレンジすることを大切にしてきたチームは、最終戦でも一人一人が攻めの姿勢で戦い抜き、シリーズチャンピオンという結果を掴み取ることが出来ました。ご支援いただいた皆様、応援していただいた多くのファンの皆様に心より感謝申し上げます。

B ドライバー　木立純一

　予選はコースイン直前に雨足が強くなった為、スリックタイヤからレインタイヤに変えて走行開始しましたが、結果的に路面コンディションはスリックタイヤ有利なままセッション終了となりました。決勝は 3 スティント目を担当。ポジション 1 でバトンを受けて走行しましたが、後ろから来る 225 号車の GR YARIS に対してポジションを守り切れず 2 番手にポジションダウンして最終ドライバーの石垣選手にバトンを渡しました。
　最終戦優勝でシリーズチャンピオン獲得は、最後まで諦めずチャレンジしたチームメンバーのお蔭です。ありがとうございました。また 1 年間ご支援頂いた皆様や応援して頂いたファンの皆様には心より感謝申し上げます。

D ドライバー　小林天翔

　富士を走るのは 2 月の公式テストぶりとなり、その際も多くの周回は出来ていなかったため、事前に他のドライバーの車載映像によるイメトレやシミュレーターでのトレーニングを行い現地に入りました。レースウィーク通して不安定な天気が続き、ドライでのマイレージを増やすことはできませんでしたが、チームが良いセットを出してくれ、ドライでもウェットでもパフォーマンスがあることを確認できました。
　決勝はスタートを担当。4WD 勢に先行を許しますが、リアタイヤが温まってきてからは戦略指示ペースをコンスタントに刻むことができ、他車のハンディキャップ消化もありクラストップで石垣選手へバトンを繋げることが出来ました。
　チームの一人ひとりが実力をすべて出し切り、それが結果につながったことは何ものにも代えがたい喜びです。
最後に、今シーズンご支援、ご声援くださった皆さまに厚く御礼申し上げます。

※C ドライバー登録の柿沼秀樹は欠場

チーム監督コメント　望月哲明

新型車両 FL5 で 2023 シーズンを迎え、毎戦様々なトラブルや課題を抱え、決して順調なシーズンとは言えませんでした。そのような環境で各領域のメンバーが知恵を出し合い時にはぶつかりあいながら、あきらめずにこれらの難問に果敢に挑み続けました。また、最終戦に向けてはテストを実施し準備が十分にできたことで、イベントを通して大きなトラブルが無く進行できたことも勝因の一つだと思います。

シリーズチャンピオンという最高の結果を得られただけではなく、メンバーの大きな成長と達成感の最大化につながったことが、何よりも嬉しいことと強く感じています。

まだまだシーズンを通してパフォーマンスが安定できておらず、熱の対策など来期に向けての課題も多数見えてきております。継続して課題の対策を進めクルマのパフォーマンスアップを目指すことで、さらなる人材育成やチームワークの向上を目指していきます。

2023 シーズン　最終ポイントランキング

Rank	No	Car	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	Total
1	743	Honda R&D Challenge FL5	30.00	27.00	12.00	18.00	15.00	---	30.00	132.00
2	13	ENDLESS GR YARIS	22.50	45.00	15.00	30.00	18.00	---	---	130.50
3	6	新菱オートDIXCEL夢住まい館エボ10	2.00	37.00	20.00	24.50	14.00	---	22.50	120.00
4	225	KTMS GR YARIS	15.00	23.00	10.00	---	30.00	---	17.00	95.00
5	7	新菱オートDIXCELエボ10	18.00	---	10.00	---	22.50	---	18.00	68.50

チーム代表コメント　木立純一

　最後まで諦めず戦いぬいた結果、悲願のシリーズチャンピオンを獲得致しました。2019 年のスーパー耐久シリーズ初参戦から多くの方にご支援頂きこの日を迎えることが出来ました。改めて御礼申し上げます。今シーズンを振り返ると開幕から 4 戦連続で表彰台獲得。前回モテギ戦ではトラブルに悩まされ表彰台獲得は叶わなかったですが 4 位完走。そのトラブルを解決する為に様々な角度から不具合解析や対策を行い最終戦に臨み栄冠を勝ち取りました。この経験は来年以降の活動に活きて更に強いチームに成長し、本活動の目的である「人材育成と良いクルマづくり」に貢献できると確信しております。最後になりますが、今シーズンも多くの方にご協力頂きありがとうございました。来シーズンもチーム一丸となってチャンピオン獲得を目標に戦って参ります。引き続きご支援ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

＜問い合わせ先＞　※メールでお願い致します。
　チーム代表　　木立　純一　Junichi_Kidachi@jp.honda
　　望月　哲明　Tetsumei_Mochizuki@jp.honda